

標 題 新規就農、新規栽培に向けてH30だんだん営農塾始まる！

(ダイジェスト)

6月5日、JAしまねくにびき地区本部中海干拓研修棟において、「平成30年度だんだん営農塾」の開講式を開催しました。

今年度は、「キャベツ」「西条柿」の2コースに、7名の塾生が、来年3月まで講義と実習を通して基礎知識や栽培技術の習得に取り組み、新規栽培・新規就農を目指します。

松江市では、平成21年度から、新規栽培・新規就農の希望者等を対象とした「だんだん営農塾」をJAしまねくにびき地区本部、松江市、当センターが連携して開催しています。

今年度は、キャベツコース4名、西条柿コース4名（掛け持ち1名）の合計7名の塾生を迎えて開講式を開催しました。（牡丹コースは見送り）

塾長（松江市産業経済部農政課長）は、「松江市の特産品の栽培体験を通して、農業の魅力や楽しみを肌で感じて将来に繋げてほしい。」と大きな期待を寄せました。

塾生からは、自己紹介の際「営農塾で技術習得し、自分の農地でしっかり栽培したい。」「営農塾を契機に農業への一步を踏み出したい。」といった抱負が聞かれました。

開講式終了後、さっそく各コースの第1回目の塾が始まり、キャベツコースは中海干拓地内ほ場、西条柿コースは病害虫薬剤防除作業の見学を行いました。

今後、キャベツコースでは月3～4回、西条柿では月1～2回、来年3月まで講義・実習を通して基礎知識や栽培技術の習得を支援します。また、塾修了後の新規栽培や新規就農に向けた支援も行うこととしています。



だんだん営農塾の開講式



〈キャベツ〉干拓地内の野菜見学